

10月は「3R推進月間」および「グリーン購入キャンペーン月間」です

# はじめよう！今日からできるエコライフ



こんなのがあるよ！

## 環境マーク

誰もが暮らしやすい環境を次の世代に残していくことは、私たちの責任であり義務です。ごみを減らし、持続発展可能な循環型社会を構築していくためのキーワードがReduce(リデュース・減らす)、Reuse(リユース・再利用)、Recycle(リサイクル・再資源化)の頭文字をとった『3R』で、実践にはこの順番が大切です。

普段の買い物の中にも、地球環境のことを考えて商品などを購入する「グリーン購入」など3R推進のために実践できるさまざまなことがあります。皆さん、「地球にやさしい社会」をつくる一歩を踏み出してみましよう。

### まずは！ Reduce 減らす

第1のRは「リデュース」、つまり資源の消費を減らすことです。レジ袋や割り箸など無意識の消費が大量のごみを発生させる大きな原因となっています。

- ◆レジ袋に買い物を持ち歩きましよう。  
マイバッグを持参して、  
ごみ減量のためレジ袋  
を断りましよう。

- ◆包装はできるだけ少ない  
ものを選びましよう。

・包装の少ない商品を選び、過剰包装を断るごみ減量を減らせます。



- ◆品物は長く使えるものを選びましよう。  
流行に左右されず、丈夫で長く使える商品を買おうと心がけましよう。

### 次に！ Reuse 再利用

第2のRは「リユース」、つまり何回も繰り返し使うことです。

- ◆繰り返し使えるものを選びましよう。  
たとえばリターナブルびん、充電式の乾電池などは環境にやさしいと言えます。

- ◆壊れたら修理しましよう。

・電気製品のわずかな故障や少し壊れた家具ぐらいいは修理して使いましよう。

- ◆リメイク・リフォームしてみましよう。

・不要な服で子ども服やカバンなどを作ってみる。物を修理したり形を変えたりしながら最後まで丁寧に使っていく暮らしをしましよう。

### 最後に！ Recycle 再資源化

最後のRは、お馴染みの「リサイクル」ごみの再資源化です。ごみを原材料として再生利用するのです。

- ◆ごみの分別をしっかりと守りましよう。

・ガラスびんは溶かして新たなびんに。牛乳パックはトイレットペーパーに。ペットボトルは合成繊維に再資源化できるよう、可燃ごみに混ぜないようにしましよう。



- ◆再生品や、資源やエネルギーを浪費しないものを選びましよう。

・再生紙や再生プラスチック素材を使った商品が増えていきます。積極的な購入が、資源の有効利用につながります。



◆問い合わせ先  
住民課 生活環境交通担当  
☎0578 有線⑤7784

<p>エコマーク 環境に配慮した製品につけられています。</p>	<p>グリーンマーク 原料に古紙を使用した製品につけられています。</p>	<p>省エネマーク 省エネ基準を達成している製品につけられています。</p>	<p>牛乳パック 再利用マーク 使用済の牛乳パックを原料とした商品につけられています。</p>
--------------------------------------	---	--	---